

令和2年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

事業報告



☆基本方針

すべての住民が自分の住み慣れた地域で
自分らしく生き生きと豊かに暮らせる
ふれあい、助けあい、支えあいのある
住民主体の福祉コミュニティの実現

我が国は、人口減少・少子高齢化等の問題をはじめ、貧困・孤立など制度の狭間で深刻化する多様な福祉問題や自然災害等の発生が重層的に存在しています。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大では、日常生活への不安や地域社会とのつながりを阻む困難さが拡大している状況があります。

こうした状況の下、国の施策によって提起された「地域共生社会の実現」をもとに、総社市では、「第2次総社市総合計画」にて、「全国屈指の福祉文化先駆都市の実現」を掲げ、「全国屈指福祉会議」や平成30年7月豪雨災害以降、「復興計画」の策定により、被災者支援とともに、災害に強いまちづくり、経済の活性化と人口増をめざした活気あるまちづくりを通じて様々な先駆的・開拓的な福祉施策に取り組まれています。

そして、本会においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業内容及び規模縮小等による実践もありますが、総社市の施策と連携し、複雑で深刻化する福祉課題に対応するために、①地域支援（地域づくり）、②個別支援（相談）、③在宅支援（在宅生活）の融合による一体的な事業展開をめざして取り組んできました。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活福祉資金（コロナ特例貸付）では、コロナ禍での減収・失業などの生活相談に応じ、生活困窮支援センターなど既存の個別（相談）支援機能を活かした「一人ひとりに寄り添う支援」に取り組んできました。さらに、ひきこもり支援事業では、相談支援やサポーター養成などに加え、新たな居場所の設置に向けた大きな一歩につなげることができました。

また、ボランティアセンター事業では、地域共生社会の実現に向けた「みんなが主役のまちづくり」を掲げ、ボランティアセンター運営委員会の設立により、お互い様による支え合いのまちづくりを推進する取り組みが始まりました。

このように全ての住民の豊かな暮らしを実現するために、「住民主体の地域福祉活動の推進」を担う中核的組織として、その使命と役割を十分に果たす取り組みを進めました。本会はこの状況の中、上記の基本方針に基づき、次の5つの基本活動を基盤に据え、住民主体の福祉コミュニティの実現のため、諸事業を推進して参りました。

〈5つの基本活動〉

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進
2. 当事者・当事者組織の支援活動の推進
3. ボランティア活動・市民活動（NPO）への支援・連携の推進
4. 相談・生活支援活動の推進
5. 介護予防事業、介護保険関連事業の充実・強化

さらに、地域福祉の推進のために、以下の7つの事業を重点に取り組みました。

☆重点事業

- (1) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- (2) 福祉委員活動の推進
- (3) ふれあいサロン活動の推進
- (4) ボランティアセンター事業の推進
- (5) 災害被災者への支援活動の推進
- (6) ひきこもり支援事業の実施
- (7) 生活支援体制整備事業の実施

そして、このような事業を推進することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせるノーマライゼーションの実現をめざし、「総社市に住んでよかった」と市民から声が上がるとような地域福祉を推進しました。

令和2年度に実施した主な事業

1. 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会・監査会の開催

- ① 理事会 年4回（6月書面決議・9月書面決議・11/10・3/11）開催
- ② 評議員会 年4回（6月書面決議・9月書面決議・11/30・3/26）開催
- ③ 監査会 年1回（5/28）開催
- ④ 評議員選任・解任委員会 年1回（11/10）開催

(2) 役員及び職員の研修

① 役職員研修

「福祉のまちづくりフェスティバル in 総社2020」に併せて開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

② 職員研修

本会職員の専門性の向上、組織力の強化を目的に実施した。

No	日程	テーマ/講師	参加人数
1	8/26(水)	「交通安全について」 講師：総社警察署 妹尾宣明 氏	23人
2	9/30(水)	「社協におけるZoomの活用について」 講師：さいばーとれいん 斉場俊之 氏	26人
3	10/28(水)	「職場が輝くためのコーチング①」 講師：岡山県社会福祉士会 尾崎力弥 氏	26人
4	11/25(水)	「職場が輝くためのコーチング②」 講師：岡山県社会福祉士会 尾崎力弥 氏	19人
5	1/27(水)	「ストレスとアンガーマネジメント」 講師：旭川荘厚生専門学院 石川静葉 氏	14人
6	2/24(水)	「権利擁護の視点から虐待防止を捉える」 講師：岡山県社会福祉士会 尾崎力弥 氏	16人

(3) 社会福祉関係機関、団体との連携

団体の活動費を助成するとともに活動を支援した。

団体名	合計
総社地区保護司会	139,000円
遺族連合会	272,000円
総社地区更生保護女性会	67,000円
原爆被爆者総社友の会	50,000円
身体障がい者福祉協会	443,000円
山手セロリー青葉会	38,000円

松寿会	164,000 円
総社介護者の会	158,000 円
あゆみ家族の会	37,000 円
保育協議会	28,000 円
母子寡婦福祉連合会	193,000 円
民生委員児童委員協議会	90,000 円
ボランティア連絡協議会	250,000 円
清音木工同好会	31,000 円
計	1,960,000 円

(4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化

厳しい社会情勢の中、自主財源確保のため、随時会費説明会を行い、各地区社協の協力を得て会員の増強に努めた。

- ・会費総額 14,763,950円（昨年度から46,450円減）
- ・加入率 54.8%（前年度 56.2%）

地区名	R2			R1	
	件数	金額	加入率	件数	金額
総社	4,647 件	3,776,800 円	49.7%	4,730 件	3,810,300 円
常盤	2,108 件	1,973,000 円	32.9%	2,058 件	1,918,900 円
池田	354 件	371,000 円	70.1%	375 件	387,000 円
清音	1,697 件	1,721,000 円	72.3%	1,690 件	1,714,500 円
三須	876 件	892,500 円	75.5%	867 件	884,500 円
服部	585 件	632,000 円	65.4%	613 件	662,000 円
阿曾	672 件	676,000 円	63.9%	705 件	709,000 円
山手	1,037 件	1,037,000 円	57.1%	995 件	994,500 円
秦	570 件	605,000 円	77.9%	572 件	607,000 円
神在	527 件	537,000 円	71.3%	504 件	513,000 円
久代	784 件	651,150 円	60.2%	837 件	693,200 円
山田	211 件	212,000 円	77.9%	211 件	212,000 円
新本	414 件	425,000 円	72.4%	418 件	428,500 円
昭和	949 件	958,500 円	72.8%	939 件	950,000 円
事務局	148 件	296,000 円		173 件	326,000 円
計	15,579件	14,763,950円	54.8%	15,687件	14,810,400円

(5) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催が中止となる。

(6) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新

- ① 「みんなのちいきふくし」の発行（年4回（1回あたり26,700部）発行）
【62号】（6月）

特集：自閉症啓発作品展

地域ニュースfrom地区社協（阿曾・池田・昭和）

各課の職員紹介・ボランティアセンターの取り組み・
令和2年度事業計画予算 など

【63号】（9月）

特集：ふれあいサロン再開
地域ニュースfrom地区社協（服部・新本・山手）
令和元（平成31）年度事業報告決算・赤い羽根共同募金運動・
障がい者コラム・各種講座案内 など

【64号】（12月）

特集：福祉委員について
地域ニュースfrom地区社協（久代・三須・清音）
赤い羽根ポスターコンクール・ひきこもり支援センターの取り組み・
フードドライブの実施報告・ など

【65号】（3月）

特集：赤い羽根福祉でまちづくり事業
地域ニュースfrom地区社協（常盤・秦・山田）
ボランティアセンターの取り組み・松寿会及び介護者の会入会案内・各
種講座の開催報告・表彰（福祉部門）について など

② ホームページの更新

- ・研修や制度の案内、各種活動状況を随時更新
- ・ホームページアドレス <http://www.sojasyakyo.or.jp/>
- ・SNS（facebook、Twitter等）の活用

(7) 民生委員互助共励事業の実施

- ① 死亡弔慰 2件
- ② 傷病見舞 1件

(8) 職員体制の状況（3月31日現在）

① 課体制

- ・事務局長 1人（兼 常務理事 1人）
- ・総務企画課
 - 課長 1人（正規 1人）
 - 総務企画係 8人（正規 4人・嘱託 1人・臨時 3人）
- ・地域福祉課
 - 課長 1人（正規 1人）
 - 地域福祉係 11人（正規 8人・嘱託 2人・臨時 1人）
- ・相談支援課
 - 課長 1人（正規 1人）
 - 障がい支援係 9人（正規 5人・嘱託 1人・臨時 3人）
 - 権利擁護係 11人（正規 7人・臨時 4人）
- ・在宅福祉課
 - 課長 1人（正規 1人）
 - 総括 1人（嘱託 1人）
 - 訪問介護係 6人（正規 5人・嘱託 1人）

居宅介護支援係	6人（正規 5人・嘱託 1人）
計画相談係	5人（正規 4人・嘱託 1人）
職員合計	62人（正規 42人・嘱託 9人・臨時11人）

② 資格取得状況

（国家資格）

・社会福祉士	22人
・精神保健福祉士	5人
・介護福祉士	18人
・保健師	2人
・看護師	3人

（認定資格）

・臨床心理士	2人
・介護支援専門員	19人
・相談支援専門員	17人

※ 重複あり延数

③ 年齢構成（正規職員のみ）

・20歳代	12人（事務局 11人・事業所 1人）
・30歳代	7人（事務局 5人・事業所 2人）
・40歳代	13人（事務局 9人・事業所 4人）
・50歳代	10人（事務局 2人・事業所 8人）

2. 地域福祉活動計画

① 第2次地域福祉活動計画の策定

本会で実施する事業の多くは、総社市で策定の「第2次総社市総合計画」（平成30年度改訂版）「岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～」及び全国屈指福祉会議を尊重し推進している。このことから、これらでの検討結果をふまえて、当面は地域福祉活動計画の策定を見合わせ、総社市と一体的に事業を進めていくこととしている。

3. 地域福祉活動事業

(1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進

① 地区社協会長会議の開催 年4回開催

・第1回地区社協会長会議（4/14）

報告事項：高校生の社会貢献活動について、令和2年度敬老会行事について、令和2年度上期地区給食サービス事業の実施について、社協会費配分について、地区給食サービス補助金について、寄付金配分について、共同募金配分について

協議事項：地区給食サービス事業について

・第2回地区社協会長会議（7/29）

報告事項：令和元年度 総社市社会福祉協議会事業報告について、新型コロナウイルス禍における総社市社会福祉協議会の対応について、令和元年度 各地区社協の取り組みについて

協議事項：地区給食サービス事業について、赤十字活動資金・社協会費の取り組みについて、令和2年度 赤い羽根共同募金事業について（ポスター作品コンクールについて、赤い羽根共同募金運動推進会議の開催日程）

・第3回地区社協会長会議（1/27）

報告事項：「福祉のまちづくりフェスティバルin総社2020」中止について、任期満了による福祉委員の推薦について、コロナ禍におけるふれあいサロン活動について、赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールについて

協議事項：地区給食サービス事業について

・第4回地区社協会長会議（3/23）

報告事項：令和3年度 総社市社会福祉協議会事業計画（案）について、令和3年度 赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について

協議事項：今後の見守り活動について

② 福祉のまちづくり座談会の開催

5月及び6月頃に、各地区社協で座談会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

③ 小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携

様々な地域課題を協議している小地域ケア会議との関係を密にし、地区社協として対応の可能性が見いだせる課題については、地区社協で取組みを協議する。

④ 赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業の推進

令和2年度より公募方式による共同募金からの助成の「赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業」（90万円）について、引き続き積極的に取り組んだ。

「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」

地区	事業名	事業概要
総社	見守り活動及び生活支援サービスに関する活動	・子ども（特に学童保育に通っている子）たちに対して、クッキーを持参し、見守り活動を実施。

常盤	防災・減災に向けた取り組み（防災訓練）	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント映像で、実施予定だった防災訓練の内容の振り返りを実施。 ・防災意識の大切さを再認識。
池田	池田小学校児童ふれあい福祉学習及び地域見守り強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の見守り活動の状況をビデオ撮影し、利用者の生の声を小学生に伝えることで、いつも作成しているメッセージカードの必要性や役割について知ってもらう。
清音	清音いきいき健康福祉まつり「きよねっ子！福祉作文・ポスターコンクール」	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉作文・ポスターコンクールの表彰式の実施。 ・コロナ禍での臨時休校や夏休みの短縮など多くの試練に耐え、頑張っている子どもたちを応援する。
三須	第22回ふれあい文化まつり 地域住民ふれあい（グラウンドゴルフ）コーナー開設	<ul style="list-style-type: none"> ・通常のふれあい文化まつりは中止となったが、一部のイベント（グラウンドゴルフ大会）を実施。
服部	真夏の見守り・声掛け活動大作戦！	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出や地域内の見守りが停滞しやすい夏場に見守り活動を実施。 ・その際に、熱中症や脱水症状に関する情報提供も行い、健康管理の呼びかけを行う。
山手	コロナ禍における感染予防推進事業～山手っこが元気な毎日を送るために～	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における新しい生活様式の実践と感染予防啓発のために山手地区の子どもたちに学校・園・親子クラブを通して、抗菌マスクケースを贈呈した。
神在	年越し見守り声掛け訪問活動	<ul style="list-style-type: none"> ・80歳以上の高齢者がおられるご自宅を見守り声掛けの訪問を実施。 ・施設に入っている方についても、元気にされている様子を伺いに施設まで訪問を実施。
新本	健康を考える年末友愛そば打ち体験	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の力を借りて、そばを手作りした。 ・そのそばを持って80歳以上の独居もしくは夫婦のみ世帯に年の瀬の見守り・声掛け訪問を実施。

⑤ 地区担当制による地区社協活動の運営補助・相談業務

担当地区のサロンや行事、様々な場を訪問し、地域との関係構築を図った。

⑥ 地区給食サービスの見直し

各地区社協にて、70歳以上ひとり暮らし高齢者を対象に栄養確保と見守り安否確認を目的に地区給食サービスを実施。また、令和2年度末で地区給食サービス終了に伴い、地区社協活動における今後の見守り活動について、方法や仕組みを検討した。

⑦ 地区社協だよりの発行

地域住民に地区社協の事業報告や社協会費の使途、決算・監査報告などを目的に地区社協毎に年1～2回程度発行した。

(2) 民生委員・児童委員活動との連携

地域福祉の増進を目的（民生委員法第1条）として、地域で活躍する民生委員・児童委員との連携を図り、地域福祉を推進した。

- ・市民生委員・児童委員協議会定例会への参加
- ・地区民生委員・児童委員協議会定例会への参加
- ・福祉委員との合同研修の実施

(3) 福祉委員活動の推進

- ① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進
592人（48世帯に1人配置）

- ② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援

- ・総社市福祉委員協議会

総会 1回（6/26）開催

役員会 7回（5/15・7/10・8/7・10/5・12/11・1/18・3/17）開催

臨時役員会 1回（1/13）開催

役員研修会

日時：令和2年11月5日（木）10：00～11：30

場所：サンロード吉備路

内容：コロナに負けない地域の支え合い（参加者：42名）

- ③ 研修会（民生委員合同・初任者等）の実施

【民生委員との合同研修】

地区	実施日	内 容
総社		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
池田		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
常盤	12/17	講演『新型コロナウイルス感染症について』 『ひきこもり支援は、社会全体の課題～みんなで考えよう♪♪ひきこもり支援～』
清音	6/26	講演『地域における交流会活動について』 『各地域での気になること』
三須		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
服部	2/4	講演『認知症サポーター養成講座』
阿曾	1/13	講演『コロナ感染について』
山手	1/26	講演『「やさい畑クムレ」活動内容の説明』 『子ども食堂について』
秦		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
神在	10/28	講演『子どもの貧困問題と子どもの居場所について』
久代	2/24	講演『コロナ禍における地域福祉活動について』
山田	2/24	講演『コロナ禍における地域福祉活動について』
新本		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
昭和		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【福祉委員実践報告DVDの作成】

福祉委員フェスティバルが新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止となったため、実践報告を予定していた4団体の発表をまとめ、今後の福祉委員活動に活かすことを目的に作成した。

④ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行

福祉委員へ福祉情報や福祉委員活動の実践等、情報提供を行うことで、福祉委員活動の周知や意識高揚を図り、今後の福祉委員活動に活かすことを目的に作成。

- ・第17号（10月）・第18号（3月）
- ・編集委員会の開催

(4) ふれあいサロン事業の推進

① ふれあいサロン活動助成金の交付

- ・申請 217か所
- ・助成 180か所（総額3,286,000円）

② 新規ふれあいサロンへの立ち上げ相談、運営支援

	設置数	新規設置数	延開催回数	延参加者数
高齢者	207か所	1か所	1,980回	20,973人
障がい者	2か所	0か所	22回	70人
子育て	8か所	0か所	59回	489人
合計	217か所	1か所	2,061回	21,532人

- ・ふれあいサロン備品の整備と貸出
- ・ふれあいサロンへの職員の訪問・取材・相談
- ・様々な分野の講師・指導者の派遣調整
- ・ふれあいサロンの情報提供（一覧、広報紙）

③ 各ふれあいサロンへ訪問

- ・ふれあいサロン活動の状況把握、相談支援、情報交換や情報提供、備品の説明。

④ ふれあいサロン交流会の開催

- ・内容：ふれあいサロン育成事業について、コロナ禍におけるふれあいサロン活動について
- ・新型コロナウイルス感染予防対策のため総合福祉センターにて開催
参加者数：159サロン 126人

(5) ボランティアセンター事業の実施

① ボランティア（グループ、個人）活動の支援

- ・ボランティア登録（72グループ（2,229人）、個人4人）

② ボランティア活動のコーディネート

- ・実相談件数：25件
- ・延相談件数：226件

③ ボランティアの養成及び活動の推進・支援

④ ボランティア養成講座の開催

対象者：市内在住の方

市内でボランティア活動に取り組みたい方

参加者：43人

内 容：基礎講座（全2回）

専門講座

災害ボランティア講座

傾聴ボランティア講座

⑤ 「夏のボランティア体験事業」の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

⑥ ジュニアボランティア養成講座の開催（全4回）

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

⑦ ボランティア連絡協議会の支援

・13団体、174人

・総会・交流集会・視察研修・役員会の実施

(6) 災害ボランティアセンター事業

① 災害ボランティアの派遣

・派遣件数：2件

・派遣人数：4人

・活動内容：家財の搬出など

(7) 福祉教育の推進

① 社会福祉学習支援事業の実施

・実施件数：小学校11件、中学校2件

No	実 施	内 容
1	総社中央小学校	・導入の授業・白杖体験 ・障がい者の暮らしについて ・認知症サポーター養成講座 ・福祉学習発表会
2	総社小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・障がい者の暮らしについて・聴覚障がいの話 ・認知症サポーター養成講座
3	常盤小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・認知症サポーター養成講座
4	清音小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験・車いす、白杖体験 ・認知症サポーター養成講座
5	山手小学校	・導入の授業・盲導犬ユーザーによる授業 ・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験 ・認知症サポーター養成講座・福祉学習発表会

6	阿曾小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の授業・認知症サポーター養成講座 ・高齢者疑似体験・車いす、白杖体験 ・盲導犬ユーザーによる授業・ふれあいサロンへの参加 ・認知症サポーター養成講座
7	総社東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の授業・車いす、白杖体験 ・認知症サポーター養成講座
8	秦小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・総社市総合福祉センター見学・高齢者疑似体験 ・認知症サポーター養成講座
9	総社西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の授業・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験 ・盲導犬ユーザーによる授業、介助犬ユーザーによる授業 ・認知症サポーター養成講座
10	新本小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の授業・障がい者の暮らしについて ・車いす、白杖体験 ・盲導犬ユーザーによる授業・高齢者疑似体験 ・ふれあいサロンでの交流
11	昭和小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の授業・車いす、白杖体験 ・高齢者疑似体験・盲導犬ユーザーによる授業・福祉学習発表会 ・認知症サポーター養成講座
12	総社東中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験・車いす、白杖体験
13	総社中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の授業・車いす、白杖体験 ・障がい者の暮らしについて

② 福祉学習メニュー表の作成

実践可能な講座を取りまとめたメニュー表を作成し、多様な福祉学習の実施につながるよう努めた。

③ 県立高校社会貢献活動との連携

新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼なし。

④ 令和2年度福祉教育セミナーの開催

目 的：「福祉」「教育」「地域」の三者が「福祉教育」の目的や意義を理解し、より良い福祉教育の実践を模索し、福祉教育の学びや気づきを今後の福祉教育・地域福祉活動につなげる。

日 時：令和3年2月25日（木）14：00～15：30

対 象：小学校、中学校、高校、大学の教職員、福祉教育関係者、ボランティア、地区社協関係者など福祉教育に関心のある方

基調講演：「見えないから見えるもの」

認定NPO法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内 昌彦 氏

参 加 者：54人

(8) 生活福祉資金等の貸付

① 生活福祉資金特例貸付の貸付

- ・延相談件数 1,419件
- ・貸付件数 509件（緊急小口資金特例貸付）
580件（総合支援資金貸付）

② 緊急援護資金の貸付

	R2	R1	H30	H29	H28
相談件数	54件	74件	115件	221件	48件
貸付件数	39件	35件	34件	32件	31件
うち生活保 護世帯	10件	18件	19件	17件	13件
	25.6%	51.4%	55.9%	53.1%	43.3%
償還率	82.1%	87.5%	94.1%	81.3%	73.3%

(9) 生活支援体制整備事業の推進（協議体の開催）

① 生活支援サービス検討委員会の開催（第1層協議体）

総社市における生活支援・介護予防サービスの体制整備をめざして、多様な活動関係機関との ①情報共有 ②連携・協働 ③資源開発を推進するために設置。

【第1回】12月24日（木）

→各検討部会の進捗状況の共有

生活支援にここをサポートの事業展開

生活支援体制整備事業の周知・広報

【第2回】3月16日（火）

→各検討部会の今後の取り組み

② 生活支援サービス検討委員会検討部会等の開催（第1層協議体専門部会）

- ・「第1回 生活の支え合い活動検討部会」 【12月24日（木）】
- ・「第1回 買い物・給食サービス検討部会」 【6月16日（火）】
- ・「第2回 買い物・給食サービス検討部会」 【8月24日（月）】
- ・「第1回 地域の担い手・居場所づくり検討部会」 【7月2日（木）】
- ・「第1回 移動・外出支援検討部会」 【9月15日（火）】

③ 圏域地域包括ケア会議の開催（第2層協議体）

- ・多様な関係者主体の定期的な情報共有及び連携、協働による取組を推進する。
- ・地域性のある生活支援サービスのニーズを集約する場。
- ・総社市における地域包括ケアシステムを実現する三層構造の位置付け
（小地域ケア会議→圏域地域包括ケア会議→地域包括ケア会議）

【第1回】

中央部北（総社・池田）	9月30日（水）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	9月24日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	9月25日（金）	山手出張所
北部（昭和）	9月2日（火）	昭和公民館

【第2回】

中央部北（総社・池田）	1月25日（月）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	1月26日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	1月22日（金）	山手出張所
北部（昭和）	1月28日（木）	昭和公民館

(10) 生活支援に関する取り組み

① 「かいもの市」の開催（買い物・給食サービス検討部会）

移動販売や配達弁当等のサービスを知ってもらい、買い物に困っている方等、必要な方につなげる取り組み。地域住民への買い物に関するアンケート調査も併せて行い、ニーズの把握からサービス向上や新たな取り組みへの発展をめざす。

	日 程	対 象	会 場
第1回	7月9日（木）	水内地区住民	なっ茶ん家
第2回	11月11日（水）	久代地区住民	久代分館
第3回	12月16日（水）	東部圏域内民生委員・福祉委員	阿曾分館

② 空き家活用セミナーの開催（地域の担い手・居場所づくり検討部会）

住まいの相続・管理方法などの知識・情報習得の機会として開催した。希望者には、実際に空き家を活用した活動拠点施設の見学や担当課による個別相談会を実施した。

日 時：8月14日（金）9：30～11：30

会 場：山田分館

参加人数：50人

内 容：空き家コンシェルジュ」の有江氏による空き家に関する制度や基礎知識の講演を開催。希望者には個別相談を実施し、具体的な悩みを聞き、助言をした。また、空き家活用の実践紹介として、「菊池邸」の見学も行った。

③ 電動アシスト自転車等体験会（移動・外出支援検討部会）

日 時：10月30日（金）13：30～15：00

会 場：山手福祉センター

参加人数：23人

内 容：電動アシスト自転車（2輪・3輪・4輪）と電動カートの使用体験を通して、それぞれの特徴や操作方法・注意点を学ぶ機会を作った。高齢者の移動手段としての適性かどうか、メリット・デメリットを評価した。

(11) 生活支援サービスの実施（生活支援にここをサポート事業）

① 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催【担い手の養成】

「誰もが安心して豊かに暮らせる」ふれあい・助けあい・支えあいのある住民主体の福祉のまちづくりの実現に向けて、高齢者等の日常生活における「生活の困りごと」を支える応援団（生活支援サポーター）を養成し、お互いに支え合う活動を通じて、（ふ）普段の（く）暮らしの（し）幸せを創出することを目的に開催。

日 程	内 容
10月6日（火） 9：30～11：30	第1回 開講式・講義 ①「介護予防と社会参加」 市長寿介護課 野瀬 明子 氏

29人参加	②「地域福祉の取り組みについて」 市社会福祉協議会 劔持 美典
10月13日(火) 9:30~11:30	第2回 講義 ①「地域包括支援センターの役割について」 東部南地域包括支援センター 日笠由美子 氏
25人参加	②「生活支援にこここサポート事業について」 市社会福祉協議会 山内 翔太
第3回・第4回 総社市医療介護市民講座から2講座以上を選択して受講	
12月3日(木) 9:30~11:30	第5回 講義 ①「にこここサポート活動を知ろう！ ～サポーターからの声～」 にこここサポーター連絡会 会長 河田八千代 氏 副会長 大平 節子 氏 高階 重行 氏 市社会福祉協議会 太田井 真
24人参加	
12月9日(水) 9:30~12:00	第6回 講義・グループワーク ①「お互い様のココロ ～地域で豊かに暮らし続けるために」 ②「今、私たちにできることを考えよう」 岡山県立大学 佐藤ゆかり 氏
27人参加	

・受講者数：192人（延べ） ・修了者数：26人

② 生活支援「にこここサポート事業」

●担 手：「にこここサポーター」（登録者数 140人）

※R2 養成講座修了者から新規登録者数 20人

●対 象 者：①要支援者（介護保険認定区分が要支援1・2の方）

②基本チェックリストにより判定し該当になった方

●利用料金：①1時間まで 500円 ②30分まで 300円

●利用時間：午前8時～午後5時（月曜日～金曜日）

※利用時間は、原則、1時間単位を基本（要相談）

※年末年始（12/29から1/3）、土日、祝日は除く

●サポート内容：掃除、簡単な家事、買い物、外出時の付き添い、介護予防・自立生活を支えるために必要とされるサポートの内容

◆実 績：①利用者数：46人

（要支援1：14人、要支援2：20人、事業対象者：12人）

②サポーター活動者数：（実）49人／（延）79人

③ 生活支援サポーター連絡会 各種会議の開催

生活支援サポート事業の充実（仕組みづくり）をめざして、サポーター登録者相互の連携と協調を図ること、研修や情報交換を目的に定期的な連絡会を開催。

また、新たな活動の創出に向けた話し合いの場も開催した。

会議名	日 程	内 容	参加
役員会	<第1回> 4月16日(木)	・総会について ・コロナ禍での活動について	4人
	<第2回> 3月26日(金)	・令和3年度の事業展開について	10人
総 会	6月19日(金) ※書面決議	・令和元年度 事業報告・決算報告 ・令和2年度 事業計画(案)及び事業 予算(案)について ・ご意見シート	105人 (回答)
連絡会	8月28日(金)	・感染予防の徹底について ・新たな活動に向けたグループ討議	42名
にこサポ ボーイズ	<第1回> 9月18日(金)	・準備会の発足について ・設立に向けたスケジュール作成	4人
	<第2回> 10月29日(木)	・チームの名称について ・活動内容について	5人
	<第3回> 2月16日(火)	・活動内容及び受付手順について ・利用料金(活動費)について	7人
	<第4回> 3月10日(水)	・メンバーの顔合わせ ・令和3年度からの活動開始に向けて	11人

(13) 社会福祉法人との連携事業

平成29年7月1日、社会福祉法第24条第2項に規定される「地域における公益的な取組」を協働して行うことを目指して、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会(愛称:ふくしネットそうじゃ)が設立しました。総社市内に拠点のある社会福祉法人(20法人)に呼びかけ、19法人が加入し、活動を展開されました。

スキーム福祉の会	金曜会	雪舟福祉会
やさい畑クムレ	超寿会	吉備のくに福祉会
梁善会	あのね保育園	新生寿会
真美会	経山会	進和福祉会
吉備路の会	すずらん保育園	総社市社会福祉事業団
総社福祉会	ももその学園	総社市社会福祉協議会
千寿福祉会		

① 総会の開催(書面開催)

【総会】(参加者:19法人)

- ・令和元年度 事業報告及び決算報告
- ・令和2年度 事業計画及び予算計画など

② 役員会の開催

・3回（5月書面開催・1/13）開催

③ 部会の開催

[事業部会] 1回

[調査・研修部会] 0回

④ 暮らし応援事業の実施

おかやまコープ総社東店、総社市生活困窮支援センターとの協働でフードドライブを実施した。

（趣旨）

食料品の寄付を募り、いただいたものを生活困窮支援に役立てる活動。

第1回 令和2年10月24日（土）10：00～13：00

参加者：12人（社会福祉法人4人、おかやまコープ4人）

協力者：13人 協力法人：12法人 協力団体：2団体

総数：921個 総重量：196kg

第2回 令和3年2月6日（土）10：00～13：00

参加者：10人（社会福祉法人8名、おかやまコープ2名）

協力者：14人 協力法人：10法人 協力団体：1団体

総数：1,517個 総重量：282kg

⑤ しごと応援事業の実施

ひきこもりの方などを対象に、ボランティアや就労を体験できる機会として福祉施設等で受け入れ、社会参加や自立生活に向けた支援を行う活動。

⑥ 安心すまい応援事業の実施

DV被害者の一時避難先や、生活困窮者の一時的な生活の場（宿泊等）として受け入れる活動。

実績：吉備路の会（吉備路学園）1人

⑦ 子育て応援事業の実施

子育てに課題や悩みを抱える保護者を対象に、育児への関わり方のヒントを提供し、共に考える機会を提供する活動（ペアレントサポート）。

実績：社会福祉事業団（障がい児通園施設 はばたき園）

⑧ 新たな取り組み応援事業の実施

市内で先駆的かつ公益的な取り組みで、公的助成が見込めない団体に対し、必要経費の一部を助成する活動。

4. 子育て支援事業

(1) 子育てサロン事業の支援

- 子育てサロンへの相談支援（8か所）
- 活動助成金の交付
- 備品の貸し出し

(2) 地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

- 地区社会福祉協議会と連携して地域密着型の子どもまつりの開催
- 多世代交流事業としても開催

地区	日程	参加人数	行事名	内容
池田	3/8	65人	子育て交流	対象者：未就学児、幼稚園、小学生 コロナ禍の為、図書カード・お菓子を配布することで子どもたちとの交流を図った。
久代	10/29	41人	久代地区民児協と久代幼稚園とのふれあい交流会	対象者：幼稚園児、地区社協、民生委員児童委員 紙芝居、野菜ダンス、ダーツ、輪投げ

5. 高齢者福祉事業

(1) 地区給食サービス事業の実施（地区社協主催で実施）

- ・原則年7回実施
- ・実績 延6,961食（上期 952食 下期 6,009食）
- ・ボランティア人数 延1,644人（上期154人 下期1,490人）

(2) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全地区ともに式典は中止とし、記念品等を配布した。

対象者： 5,987人（80歳以上）

地区	対象者	地区	対象者
総社	1,628人	山手	389人
常盤	743人	秦	218人
池田	163人	神在	184人
清音	556人	久代	341人
三須	363人	山田	97人
服部	209人	新本	189人
阿曾	338人	昭和	569人

(3) 高齢者等団体(老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会)の支援

① いきいきシニア総社（総社市老人クラブ連合会）

- ・56クラブ 3,475人
- ・主な事業：総会、研修会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会、女性委員会主催行事

② 松寿会（ひとり暮らし高齢者の会）

- ・対象：市内在住で65歳以上の一人暮らしの方
- ・会員：96人
- ・内容：総会、交流会、移動研修、役員会

③ 総社介護者の会

- ・対象：身体に不自由な方等を介護している方、介護体験者等
- ・会員：24人
- ・内容：総会、茶話会、研修旅行、料理教室、役員会

6. 障がい者福祉事業

(1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営

① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）

基幹相談支援センターは、地域での障がい者相談支援の中核的な役割を担う機関

（相談支援を利用している障がい者等）

（人）

対象者	実人員	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
障がい児	184	7	23	0	88	0	2	81
障がい者	206	16	60	70	47	1	1	45
計	390	23	83	70	135	1	3	126

（相談支援方法）合計 7,102 件

（件）

		訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
	相談者数 (実数)	360	615	87	1,660	160	165	2,850	4
内 訳	身体	26	22	3	149	3	10	200	1
	知的	63	211	49	353	30	44	707	0
	精神	81	220	29	998	61	51	1,133	1
	※ 発達	117	290	31	347	59	50	1,094	1
	高次脳	3	1	0	0	0	2	24	0
	難病	1	2	0	17	0	4	27	0
	その他	104	56	2	59	10	24	330	2
	計	395	802	114	1,923	163	185	3,515	5

② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施

基幹相談支援センターとしては、指定一般相談支援事業者としての地域移行・地域定着支援は実施していません。基幹相談支援センターに求められる役割の一つとして、入所施設や精神科病院等と連携し、障がいのある方の地域移行・地域定着をサポートしています。

(2) 発達障がい者支援体制整備事業の実施

① 発達障がい者支援ネットワークの構築

発達障がい者支援体制整備事業は、総社市における発達障がい者（児）について、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図り、発達障がい者（児）の福祉の向上を図ることを目的としています。

総社市では、発達障がい支援コーディネーターを基幹相談支援センターに配置し、障がいに関するワンストップの相談窓口を設置しています。基幹相談支援センターは総社市地域自立支援協議会事務局を担っており、相談者個人の問題とするのではなく、広く総社市の地域課題として、行政をはじめとする関係機関と協議していく体制を構築しています。障がい者千人雇用センターとの連携を含め、学校卒業後も見据えた、生涯にわたる一貫した支援を提供する体制を整備していきます。

○ 相談支援実数187人（延2,948件）

- ・ 児童 108人（うち未診断・未確認 22人、知的障がいを伴う16人）
- ・ 成人 79人（うち未診断・未確認 12人、知的障がいを伴う29人）

（相談支援方法） 計2,948件

（件）

訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
215	432	42	539	101	71	1,545	3

○ 関係者の研修・その他の取組等

（主催の講座・研修等）

- ・ 総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会
11月16日（月）療育の今とこれからの期待されること
～将来を見据えた支援とは～
講師：重松 孝治氏（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科 講師）
- ・ 発達障がい支援者養成講座「みんなで学ぼう！発達障がい」（全5回）
※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場、オンライン会場
（ZOOM）、録画視聴の選択形式で開催
講師：重松 孝治 氏（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科 講師）
申込者：137人、延べ参加者：来場 計96人
オンライン会場：計42人
録画視聴回数：計719回

（コーディネーター派遣等）

- ・ 9月16日（水）倉敷まきび支援学校 総社地区 生活・働くを知る会
- ・ 10月20日（火）～10月22日（木）倉敷まきび支援学校出張相談会
- ・ 11月～12月 義務教育終了後の四者面談
- ・ 2月16日（火）学校教育課 進路説明会
- ・ 総社市全国屈指福祉会議 発達障がい児支援部会
- ・ 総社市4歳児発達支援事業の相談支援チームとして、市内幼稚園、保育所（園）等を訪問
- ・ 総社市教育支援委員会委員
- ・ 総社市教育支援委員会専門家チームとして、市内小中学校、幼稚園、保育所（園）を訪問
- ・ （総社はばたき園）総社市ペアレントサポート事業にスタッフの一員として参加
- ・ 総社市内の放課後児童クラブ（1か所）を定期的に訪問し、助言等を行っている
- ・ 総社市内の高校に定期的に訪問し、助言等を行っている
- ・ 総社 PEC（要観察児教室）に参加し、助言等を行っている
- ・ 総社市の1歳6か月健診におけるM-CHAT導入のための協議に参加
- ・ 岡山県発達障害者支援センター主催のコホートWGに参加

(その他)

- ・ 世界自閉症啓発デー セントラルロビーアート展 (4/2~10)
- ・ 総社市地域自立支援協議会の事務局を運営している
- ・ 総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会を開催 (年2回)
- ・ 総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会を開催 (年1回)

② 発達障がい支援者養成講座の開催

自閉症等の発達障がい児(者)の保護者及びその支援に関わる人たちに、専門的知識を提供する機会を設け、発達障がい児(者)の支援に関する専門性を高めることを目的とし開催した。

【発達障がい支援者養成講座】「みんなで学ぼう!発達障がい」

5回開催(11/11、12/16、1/19、2/19、3/5)

場 所：総社市総合福祉センター、オンライン会場(ZOOM)、録画視聴

対 象：総社市在住の発達障がい児(者)の保護者及び支援者など

講 師：川崎医療福祉大学 子ども医療福祉学科 講師 重松孝治 氏

内 容：第1回 発達障がいの特性

第2回 個々の子ども理解に応じたアプローチ

第3回 子どもに伝わる伝え方

第4回 子どもからの発信を育てる

第5回 ライフステージに応じた支援に向けて

申込者数：137人

参加者数：来場 : 延 96人

オンライン会場：延 42人

録画視聴回数 : 延719回

③ 自閉症支援トレーニングセミナーの開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止した。

④ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間啓発イベントの実施

自閉症の理解・啓発の一環として、当事者の方の作品を展示した。

日 時：令和2年4月2日~4月10日

場 所：総社市役所セントラルロビー

(3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営

(就労者数：1,171人 ※本センター支援実績含む)

① 障がい者就労支援の推進(就労者数：1,171人)

障がい者千人雇用センターでは、専門職員を配置(千五百人雇用ワーカー3人、ハローワーク職員1人)し、働きたい障がい者と、雇用したい企業との間に入り、きめ細やかな支援を行っている。就職後も職場を訪問し、アフターケアを行っている。

相談件数(延)：6,464件

就職件数：84件・職場実習：64件

○障がい種別(延)

(件)

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
773	1,599	2,937	1,184	83	140	61

○就労状況（延） (件)

在職中	求職中
3,437	3,027

○相談方法（延） (件)

訪問	来所	電話	e-mail	その他
870	1,394	3,769	251	180

○障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会（1/29）への協力
面接会場内に千五百人雇用センターの相談ブースを設置した。

② 障がい者就労支援セミナー2020 in そうじゃの開催

地域の企業等を対象に、精神障がい者への理解を深め、安定して生き生きと働き続けることができる場を増やすことを目的として開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場定員を20名とし、併せてオンライン配信をおこなった。

日 時：令和2年12月4日（金）13:30～15:30

場 所：総社市総合福祉センター3階 大会議室・ZOOM配信

内 容：

(1) 講演「医療機関における自閉症スペクトラム症の方への就労準備支援」

講 師：岡山県精神科医療センター

公認心理師／臨床心理士 藤田 純嗣郎 氏

(2) 実践紹介・座談会「企業と千五百人雇用センターの連携」

シノプフーズ株式会社 中桐 由美子 氏

ファイズオペレーションズ株式会社 荒川 美奈子 氏

岡山県精神科医療センター 藤田 純嗣郎 氏

総社市障がい者千五百人雇用センター 高瀬 智早 氏

参加者：97人（会場・オンライン・録画視聴）

③ 工賃向上研修会の開催

先進事例を学び意見交換をとおして、就労継続支援事業所のサービスの質の向上および工賃向上を目的に開催した。

日 時：令和3年3月12日（金）14:00～15:30

場 所：総社市総合福祉センター2階 教養研修室・ZOOM（オンライン）

内 容：

(1) 実践紹介 「ジャック&豆の木の取り組み」

サービス管理責任者 荒川 玲子 氏

(2) 情報交換

参加者：51人（会場・オンライン・録画視聴）

(4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営

① 日中活動支援事業（創作的活動、生産活動、社会との交流促進等の事業を実施）

地域活動支援センター「ゆうゆう」は、総社市在住で18歳以上の障がいのある方

を対象としている。障がいのある方の地域生活を支援するために専任の職員を配置し、日中活動の場の提供、地域交流などの各事業を実施している。障がいのある方・ご家族にとって住みやすいまちづくりをめざし、当事者主体の活動拠点として事業を行っている。

- ・日中活動利用者 延人数 1,202人、登録者数 66人
- ・日中活動支援 利用者が自主的に行事を考え、活動に参加できるように支援をする。（創作活動、料理教室等）
- ・地域交流事業（行事の企画実施）
- ・広報・啓発事業 ゆうゆう通信の発行（月1回）

- ② 障がい者ふれあいボランティア講座の開催
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

(5) 地域自立支援協議会の運営

- ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営

総社市では、平成19年3月から「総社市地域自立支援協議会」が設置されており、事務局を総社市障がい者基幹相談支援センターが担っている。

障がい者福祉の関係機関の情報共有及び連携を図るとともに、障がい者福祉に関する支援システムの構築、生活に必要な社会資源の創出・改善などを協議することで、障がいのある方が総社市で安心して暮らせることを目指して開催した。

当事者団体、家族、施設、関係機関、行政関係者など70以上の団体・機関から構成されている。

(地域自立支援協議会開催状況)

- 全体会議 新型コロナウイルスの感染防止のため今年度は開催していない
- 実務担当者会議 2回開催（10/30・1/13）※ 委員向けの研修会として開催
- 運営会議 5回開催（5/22・7/17・10/16・11/6・1/22）
- 専門部会・プロジェクトチーム・連絡会

No	専門部会名	開催回数
1	住まいを考える部会	0回
2	地域生活支援拠点等検討プロジェクトチーム	4回
3	医療的ケア児支援体制検討プロジェクトチーム	5回
4	相談支援事業所連絡会	6回
5	こどもに寄り添う連絡会	2回
6	日中活動事業所連絡会	0回
7	日中一時支援事業所連絡会	5回
8	療育支援事業所連絡会	1回
9	ハートフルそうじゃ実行委員会	0回

○障がい福祉フォーラムの開催（12月4日）

○地域自立支援協議会研修会（実務担当者会議）

- ・世界自閉症啓発デー セントラルロビーアート展（4/2～4/10）

- ・10/30（金）研修会（実務担当者会議）

「ここが知りたい！新型コロナウイルス感染症」

- ・11/16（月）療育支援事業所連絡会研修会

「療育の今とこれからの期待されること～将来を見据えた支援とは～」

- 12/5（土） 障がい福祉フォーラム
 - 11月、12月 岡山県相談支援従事者初任者研修インターバル実習
 - 2月 岡山県相談支援従事者現任研修インターバル実習
- 岡山県自立支援協議会事務局連絡会 1回開催（2/18）
- 備中圏域自立支援協議会連絡会 1回開催（2/8）

（6）障がい福祉フォーラムの開催

障がい者福祉をより重層的・包括的に実践していくためには、当事者、家族、住民、ボランティア、医療・福祉関係者、行政等が更に連携して支援システムづくりを推進する必要がある。そこで、本フォーラムを契機として、障がいのある方が地域で安心して暮らせるまちづくりの推進を目指し、障がい者福祉フォーラムを「障がい者週間」にあわせて開催した。

- 日 時：令和2年12月5日（土）13:00～16:00
- 場 所：総社市総合福祉センター、総社市保健センター
- 内 容：① 講演会：「“障がい”ってなあに？-障がいへの理解と配慮を考える-」
講 師：（公社）岡山県社会福祉士会 副会長 山崎 弘一 氏
- ② コロナ禍の障がい福祉事業所等を応援する販売会
- ③ 事業所等紹介パネル展示（12/1～12/11）

（7）障がい者（児）団体の支援

障がい者（児）団体に対し、団体の活動に関する情報提供や要望に応じて助言している。また、事務局や運営委員の一員としての役割を担うなど、団体活動のサポートを行った。

- 総社市インクルージョン推進事業協議会
- 総社市身体障害者福祉協会

7. 権利擁護事業の設置運営

(1) 権利擁護センター“しえん”の設置運営

① 虐待防止対策事業の実施

行政や関係機関と連携して「高齢者虐待」「障がい者虐待」「児童虐待」「DV」に関する支援を行った。

・相談実績

	高齢者虐待	障がい者虐待	児童虐待	DV
実数	36人	5人	11人	15人
延対応数	737件	164件	203件	78件
平均対応数	20.5件	32.8件	18.5件	5.2件

② 成年後見支援事業の実施

市民や支援者からの成年後見制度における相談支援を行った。

・相談実績 実数：65人 延対応数：524件 平均対応数：8.1件

③ 入院・入居支援事業の実施

賃貸住宅等への入居に関する契約等の困難に対応するため支援を行った。

・相談実績 実数：10人 延対応数：199件 平均対応数：19.9件

④ 犯罪被害者支援

犯罪被害にあった方への支援を関係機関と連携して行う。

・相談実績 実数：0人 延対応数：0件 平均対応数：0件

・犯罪被害者支援講演会（11月26日）の開催

講演「今こそDVや虐待を防ぐために」

講師：公益社団法人 被害者サポートセンターおかやま（VSCO）

犯罪被害相談員 難波 光 氏・片山 文 氏

対象：一般市民

参加者：31名

(2) 権利擁護センター運営委員会の開催

① 運営委員会の開催

権利擁護センター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に開催した。

開催日	内容
4月17日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度権利擁護センター実績報告について 市民後見人登録選考委員会からの報告及び総社市への答申について 中核機関体制整備ワーキンググループからの報告資料について 専門職支援チームで対応した場合について 令和2年度権利擁護センター事業計画（案）について

9月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・後見等候補者リスト登録説明会について ・総社市市民後見人養成研修受講者選考について ・総社市市民後見人養成研修の内容について ・専門職支援チームで対応した場合について
3月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人登録審査会の委員選出について ・令和3年度 総社市権利擁護センター事業計画(案)について

② 支援検討委員会の開催

個別事例の支援調整、困難事例の検討を実施した。

開催日	内容
4月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・検討事例状況報告
6月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・総社市市民後見人養成研修受講者面接の委員選出について ・検討事例状況報告
9月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・社協法人後見運営について ・検討事例状況報告 ・専門職支援チームからの報告、事例検討(1件)
10月19日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討(1件) ・検討事例状況報告
12月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・検討事例状況報告 ・専門職支援チームからの報告、事例検討(1件)
(臨時) 2月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討(2件) ・検討事例状況報告
3月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討(1件) ・検討事例状況報告

専門職支援チームによる事例検討・・・7月21日(火) 12月10日(木)

(3) 成年後見制度に関する啓発事業の実施

成年後見制度や市民後見人の活動の理解と周知・啓発を目的に、成年後見セミナー及び市民後見人養成研修の説明会を開催。また、個別の相談に対応するため成年後見制度無料相談会を実施した。

① 令和2年度成年後見セミナー及び市民後見人養成研修説明会

内 容：講演「なるほど!!ザ・成年後見

～後見人のこと、わかりやすくお伝えします～」

講師：パブリック法律事務所 副所長 尾崎 力弥 氏

実施日：令和2年8月31日(月)

受講者：25人

② 成年後見制度無料相談

成年後見制度に関する相談に専門職(弁護士・社会福祉士)が対応した。(予約制)

実施日：毎月第2木曜日 14:00～16:00(計11回)

相談件数：8件

(4) 市民後見人養成事業の実施

市内で市民後見人として活動いただける方を養成することを目的に開催した。
今年度は1人が次の研修を受講し修了した。

① 岡山県市民後見人養成講座

令和2年10月18日～12月13日の7日間で、成年後見制度や市民後見人活動の基礎的内容について、知識・技術を習得していただいた。

② 総社市市民後見人養成研修

総社市における地域福祉の取組、市民後見概論や専門的な関係制度・民法の基礎事項を行政や弁護士・司法書士等を講師として研修会を実施し、受講いただいた。

実施日：令和3年1月6日～2月24日の4日間

現場実習（施設見学・後見業務同行）

(5) 市民後見人フォローアップ事業の実施

① 市民後見人定例研修会

市民後見人登録者18人を対象に、成年後見業務に関する知識や技術の向上を目的に奇数月第3水曜日に開催した。

日程	内容
7月15日（水）	・本年度の研修会の内容について
9月16日（水）	・市民後見人活動報告
11月25日（水）	・権利擁護センターの小田弁護士を招いた研修会
1月20日（水）	・認知症サポーター養成講座
3月17日（水）	・他市市民後見人との交流（ZOOM）

② ネットワーク連絡会（そうじゃ権利擁護ねっと）の開催

専門職同士（医療・福祉・司法）のネットワーク構築のため、権利擁護に関する意見交換や事例検討を行った。

- ・第6回：9月10日（木）・・・参加者：23人
- ・第7回：12月10日（木）・・・参加者：19人
- ・第8回：3月3日（水）・・・参加者：17人
- ・参加職種：弁護士、司法書士、社会福祉士、介護支援専門員、地域包括支援センター、相談支援専門員、市民後見人、社会保険労務士

③ 受任後のフォローアップ

日頃の後見活動における相談支援を個別に実施し、市民後見人定例研修会においては、市民後見人同士による支援の課題や意見交換を実施した。

④ 総社市市民後見人養成研修会への参加

市民後見人養成研修（市独自研修）に現任の市民後見人も受講。知識や技術のフォローアップの機会を提供した。

(6) 市長申立て事務の実施

総社市が行う成年後見制度の市長申立てにおいて、担当部署と連携し、申立て書などを権利擁護センターが作成する。

令和2年度実績：1件

(7) ミニなんでも相談会の開催

市民が、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについての相談会を開催し、権利擁護センター運営委員である、弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職が相談員を務めた。また、この相談会を通じて支援につながるきっかけ作りとなった。

- ・第1回：11月5日（木）・・・相談者：9人
- ・第2回：2月12日（金）・・・相談者：9人

(8) 弁護士による専門職向け法律相談の実施

① 弁護士による専門職向け法律相談の実施

専門職を対象に総社市権利擁護センター弁護士が、相談事例における法律的な支援について必要な助言等を行った。

- ・相談者数：17人
- ・相談事例
 - 独居高齢者がなくなった際、本人の遺言により遺言執行者とされている司法書士と、親族でない知人との関係について
 - 福祉事業所の利用者が、怪我をした時の事業所の対応について
 - みなし仮設住宅入居者の退去について

② 法律ミニ講座の開催

市民や専門職に法律の正しい知識を身につけることを目的に開催した。

講師：総社市権利擁護センター 吉野夏己弁護士

日程	内容	参加者
6月18日（木）	労働災害のお話	4人
7月16日（木）	各種ハラスメント対策	8人
8月20日（木）	空き家対策	14人
9月17日（木）	道路妨害～ある日、道路が通せんぼされたら？～	12人
10月15日（木）	野生動物と法	7人
11月19日（木）	たばこ規制について	4人
12月17日（木）	地方自治体と税金のお話	2人
1月21日（木）	自然災害と法	7人
2月18日（木）	裁判のお話（訴訟制度）	7人
3月18日（木）	不動産のお話（賃貸借や登記制度）	16人

(9) 児童虐待防止研修会の実施

市民が児童虐待に関心を持ち、虐待の起こる家庭や親を責めるのではなく、地域が見守り家庭全体を支えるような視点、問題を抱えた家庭が地域にSOSを出せるような関

係づくりが大切という視点を持っていただけることを目的に開催した。

実施日：令和2年12月2日（水）

内 容：講演「困難を抱えた子どもの自立支援を通して見えること」

講 師：認定特定非営利活動法人子どもシェルターモモ

副理事長 西崎 宏美 氏

対 象：一般市民の方

参加者：43人

8. 生活困窮者支援事業

(1) 生活困窮支援センターの設置運営

① 自立相談支援事業

相談者が抱える問題について応じ、必要な情報提供や助言を行い、支援プランを作成して生活困窮者の自立の促進を行った。

- ・相談者数：412人
- ・延相談件数：12,835件
- ・1人あたりの支援回数：31回

② 家計相談支援事業

相談者が自らの家計の状況に気づき、それを理解した上で、そこから見える課題を把握して家計の再生に向けた具体的な方針を立て、相談者が自ら家計管理できるよう支援を行った。（自立相談支援事業の相談者と重複）

- ・プラン作成件数：24件

③ 家計相談会

将来設計や節約のポイントについて、専門的なアドバイスを受けるため、ファイナンシャル・プランナーによる家計相談会を行った。

- ・実施回数：年間6回
- ・相談者数：延8人

④ 支援調整会議の開催

相談者の目指す姿（目標）や、目標の実現に向けて相談者が取り組むこと、支援内容等を支援計画としてまとめたものが課題解決に向けた内容となっているか、サービス提供者は適切か、等について関係者間で協議する。また支援者や関係者が認識を共有するための場として開催した。

- ・開催回数：12回
- ・プラン作成件数：53件
- ・終了件数：13件

(2) 学習等支援事業「ワンステップ」の実施

生活困窮世帯の子どもを対象に学習支援や進路などの相談できる場を提供した。また、学習を教える大学生や教員OB・OG等との交流により子どもたちの将来を育てる場など子どもたちの居場所としても機能した。

① 学習支援（中高生版）

登録中学生数：13人（1年生：2人、2年生：6人、3年生：5人）

登録高校生数：12人

（1年生：4人、2年生：4人、3年生：3人、その他1人）

※生徒延参加者数：350名 平均参加者数（1回あたり）：7.8人

登録大学生：61人（岡山大学生：15人、県立大学生：45人）

※大学生延参加者数：53人 平均参加者数（1回あたり）：2.7人

一般ボランティア：4人（教員・塾講師・ワンステップのOB・OG）

※延参加者数：139人 平均参加者数（1回あたり）：3人

実施回数：47回（火曜日と金曜日に実施）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年6月～令和3年3月は金曜日のみ実施

② 学習支援（小学生版）

NPO法人保育サポート「あい・あい」に委託して実施

参加小学生数：9人

（1年生：2人、3年生：2人、4年生：3人、5年生：2人）

サポーター：11人

実施回数：42回

③ 意見交換会

開催日：令和3年3月19日（金）

会場：総社市総合福祉センター

参加者：岡山大学生、岡山県立大学生、一般ボランティア

内容：本事業の振り返りを行い、参加者それぞれから課題や意見の交換を行い次年度事業の実施に向けての改善点等検討した。

④ オープンキャンパスへの参加

新型コロナウイルス感染拡大のため、各校オープンキャンパスが中止となり、参加なし

⑤ 社会体験プログラム

新型コロナウイルス感染拡大のため、実施なし

⑥ 職業人の話を聞く会

開催日：令和3年1月29日（金）

会場：総社市総合福祉センター

対象：ワンステップ参加生徒

内容：生徒が民間企業で活躍する職業人（営業職・アパレル関係）から、職業に就くまでの過程や仕事の魅力等の話を聞き、将来について考える機会を設ける。

講 師：グラフィックデザイナー 渡辺 俊夫 氏
 グラフィックデザイナー 渡辺 優江 氏
 イラストレーター 山本 尚樹 氏

参加者：生徒 8 人（中学生 4 人・高校生 4 人）
 大学生 2 人（岡山県立大学）、ボランティア 3 人

(3) 食糧支援に関する事業の実施

食糧ロスの削減、食育の機会を図るとともに、地域住民の方からの寄付、フードバンク、順正学園、コープなど関係機関と連携、協働し、生活困窮世帯等へ生活の改善、自立につながる食糧支援を実施した。

また、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会及びコープと協働し、2回のフードドライブを実施した。自宅や会社等で余っている食糧を持ち寄っていただき、支援に活用すると共に、活動を通じて生活困窮者支援活動の周知を図ることができた。

(4) 子ども食堂支援事業の実施

子ども食堂の開設や興味のある方を対象にネットワークづくりを行い、こども食堂開設に向けての支援を行った。

① 子ども食堂連絡会

実施日：令和 3 年 1 月 27 日（水）

参加者：市内で子ども食堂を運営している代表者（5 か所）

内 容：コロナ禍における子どもの貧困の現状や子ども食堂の意義について共有し
 今後の子どもの食堂の運営について、実施内容を報告し、抱えている疑問や
 課題を話し合った。

講 師：川崎医療福祉大学

講師 直島 克樹 氏

② 新しい子ども食堂の開設を支援する。

子ども食堂	初回開催日	場所	頻度
そうじゃ食堂 くうねるあそび	平成 29 年 11 月 12 日	コープ東総社 2階会議室・調理室	月 1 回 日曜日
ときわ にこにこ食堂	平成 30 年 8 月 25 日	常盤分館	月 1 回 土曜日か日曜日
コ・コ・ロ食堂	令和元年 7 月 22 日	喫茶 心温	月 2 回 第 2・4 月曜日
こども食堂 すだち屋	令和元年 10 月 2 日	Kitchen Bar すだち屋	月 2 回 第 1・3 水曜日
地域食堂 DiningMinna	令和 3 年 1 月 17 日	久代分館	月 1 回 第 3 日曜日

(5) 生活困窮支援センター協議会の開催

① 協議会及び常任委員会の開催

生活困窮支援センターの運営に関し必要な事項を審議した。

- ・第1回協議会：6月24日（水）
令和元年度事業報告について
令和2年度事業計画について
生活困窮支援センター協議会委員構成について
- ・第2回協議会：2月12日（金）
総社市生活困窮支援センターの中間報告について
令和3年度事業計画について

② ワーキンググループの開催

生活困窮支援センター事業について調査研究又は審議するため、協議会内にワーキンググループを設置し協議した。

- ・子どもの貧困等に関するワーキンググループ
開催回数：2回・・・4月書面決議・1月20日（水）
内容：ワンステップの実施状況について（小学生版・中高生版）
ワンステップ（小学生版）対象者拡大について
コロナ禍における子ども食堂など、子ども支援の現状について
- ・就労支援に関する調査・研究ワーキンググループ
開催回数：1回・・・6月9日（火）
内容：生活困窮支援センター及びひきこもり支援センター利用者の就労（定着）
支援の現状と課題のまとめについて
- ・就労支援ワーキンググループ
開催回数：2回・・・11月9日（月）、1月25日（月）
内容：就労準備支援事業について
就労支援における課題の解決に向けて
就労体験、短時間就労の現状と課題解決に向けて

(6) 一時生活場所の確保の実施

派遣契約の解除による社宅の退去や、賃貸住宅契約の退去事項に抵触し、退去になった方等へ、次の居住先の確定までの間、「ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）」の協力を得て、一時生活場所の提供を行った。

実施社会福祉法人：吉備路の会、超寿会

受け入れ期間：3日～1か月

受け入れ件数：1件

9. ひきこもり支援事業

(1) ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置・運営

① ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置運営

「ひきこもり」に関する相談支援を行うためのワンストップ相談窓口として、来所相談、訪問相談、電話相談、e-mailでの相談等、様々な手段で当事者及び家族等の相談支援を行った。

【令和2年度相談実績】

- ・延相談件数 6,011件
(訪問 1,250件、来所 2,490件、電話 1,902件、e-mail 369件)
- ・実相談者数 169人(うち、新規 66人)
(男性123人：72.8%、女性45人：26.6%、不明1人：0.6%)
- ・社会参加実人数 12人
(定期的居場所利用2人、就労6人、福祉的就労1人、進学1人、復学2人)

【延相談実績】

- ・相談件数 13,644件
(訪問 2,800件、来所 5,568件、電話 4,458件、e-mail 818件)
- ・実相談者数 335人(うち、新規 66人)
(男性240人：71.6%、女性93人：27.8%、不明2人：0.6%)
(本人接触129人、家族接触111人、関係機関のみ94人)
- ・社会参加実人数 50人(※内訳は延人数)
(定期的居場所利用10人、ボランティア体験7人(特養5カ所5人、介護予防拠点施設1人、地域の農園1人)、地区社協行事への参加1人、就労18人、短期就労6人、福祉的就労5人、進学5人、復学1人、イベント出店2人)

(2) ひきこもり支援等検討委員会の開催

ひきこもり支援センター『ワンタッチ』の運営、事業の計画・推進(支援者の養成、居場所の設置等)、予算の執行、規定の制定等について審議する、ひきこもり支援等検討委員会を開催した。委員会には、より専門的に協議・検討するため、3つのワーキンググループ(支援者養成WG・社会参加WG・事例検討WG)を設置している。

○ひきこもり支援等検討委員会(委員長：西田和弘 岡山大学大学院教授)

開催日	内容
第1回 7月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ■協議事項 ・副委員長の選任、委員の追加 ・令和2年度ひきこもり支援事業計画 ・岡山県立大学「地域創生演習」への協力 ・ひきこもりサポーター養成講座について ■報告事項 ・令和元年度ひきこもり支援事業報告 ・ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の活動実績について
第2回 10月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項 ・西部地区の居場所について ・ひきこもり支援者ワーキングについて ■協議事項 ・令和3年度ひきこもり支援事業計画について

第3回 2月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項 ・令和2年度第2回全国屈指福祉会議の報告について ・ひきこもり支援者養成ワーキングについて ・社会参加ワーキングについて ・西部地区居場所の設置について ■協議事項 ・令和3年度事業計画（案）について ・ひきこもり支援事業実施規定の改正について
-----------------	---

○支援者養成ワーキンググループ（リーダー：周防美智子 岡山県立大学准教授）

開催日	内容
第1回 7月8日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項 ・ひきこもりサポーター“ほっとも”活動報告 ・令和元年度ひきこもりサポーター養成講座について ■協議事項 ・ひきこもりサポーター養成講座（案）
第2回 9月8日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項 ・ひきこもりサポーター養成講座経過報告について ■協議事項 ・ひきこもりサポーター養成イメージ（案）について ・ひきこもりサポーターフォローアップ研修について ・ひきこもりサポーターステップアップ研修、ピアサポーター養成講座について
第3回 1月22日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項 ・ひきこもりサポーター養成講座について ■協議事項 ・ひきこもりサポーター養成イメージ（案）について ・次年度ひきこもりサポーター養成講座について

○社会参加ワーキンググループ（リーダー：直島克樹 川崎医療福祉大学講師）

開催日	内容
第1回 12月23日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項 ・居場所活動報告 ・社会参加状況 ■協議事項 ・西の居場所運営について ・社会参加の資源開発について

○事例検討ワーキンググループ

（権利擁護センターの支援検討委員会と共同開催）

(3) ひきこもりサポーター養成講座の実施（平成28年度から開催）

地域の方等を対象に、ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やその家族の支え手として居場所づくり・運営等に協力いただけるサポーターを養成するために開催した。

開催日	内容
第1回 10月16日（金）	■講義 「ひきこもりの理解と支援」 講師：岡山県立大学保健福祉学科 准教授 周防 美智子 氏 説明者：ひきこもりサポーター「ほっとも」、 総社市社会福祉協議会
第2回 10月27日（火）	■講義 「ひきこもりのとらえ方 ～身近な支援者がもっておきたい視点と姿勢～」 講師：岡山高等学院 副校長 水野 文一郎 氏 発表者：山村エンタープライズ（当事者）、 ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」
第3回 11月11日（水）	■講義 「人を支援するうえで心がけること」 講師：川崎医療福祉大学医療福祉学部 講師 直島 克樹 氏 ■グループワーク
第4回 11月27日（金）	■講義 「ひきこもりの理解と支援 居場所支援とピアサポートを考えてみよう」 講師：NPO 法人あかね 代表理事 中山 遼 氏 ■グループワーク
第5回 12月10日（木）	■事業説明 「ひきこもり支援事業～総社市におけるひきこもり支援の取り組みについて～」 説明者：総社市保健福祉部福祉課、総社市教育委員会学校教育課、岡山県備中保健所、総社市社会福祉協議会 ■活動報告 「ひきこもりサポーターとして自分にできること」 コーディネーター：岡山県立大学保健福祉学科 准教授 周防 美智子 氏

○参加者数（申込者：41人）

・新規参加者数（申込者：28人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	男性	女性	参加
第1回	1	2	1	3	2	8	3	0	6	3	23	26
第2回	1	1	0	2	2	5	3	1	3	1	17	18
第3回	2	2	0	2	1	4	3	0	4	2	16	18
第4回	0	2	0	2	2	6	3	0	2	1	16	17
第5回	0	1	0	2	2	4	2	0	2	1	12	13

・再受講参加者数（申込者：13人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	男性	女性	参加
第1回	0	0	0	3	1	4	0	0	0	3	5	8
第2回	0	0	0	1	0	2	1	0	0	3	1	4
第3回	0	0	0	1	1	2	2	0	0	3	3	6
第4回	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	2	3
第5回	0	0	0	1	0	2	2	0	0	1	4	5

○登録者数

・延 86 人（内、令和 2 年度登録者 9 人）

性別	男	女
人数	21	65

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
人数	2	8	2	15	16	26	14	2	1

(4) ひきこもりサポーターフォローアップ研修の実施

ひきこもりサポーターのスキルアップを図ることを目的として、具体的な支援事例の検討や、他のひきこもり支援機関の見学研修等を行った。また、サポーターの活動内容を検討することを目的として、毎月1回ひきこもりサポーター定例ミーティングを開催した。

○ひきこもりサポーターフォローアップ研修

開催日	内容	参加
第1回 11月13日(金)	<p>■「身近なひきこもり当事者との関わり方について考えよう」 講師：岡山県備中保健所 心の保健福祉班 総括副参事 高桑 友美 氏</p> <p>■グループワーク</p>	20人

○ひきこもりサポーター定例ミーティング

開催日	内容	参加
第1回 4月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
第2回 5月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
第3回 6月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・今年度のほっともの活動について 	20人
第4回 7月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・係決めについて ・居場所の農園について ・アンケートについて 	21人
第5回 8月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県立大学地域創生演習について ・係活動について ・ひきこもりサポーター養成講座について 	16人

第6回 9月28日(月)	・年間スケジュールについて ・フォローアップ研修について	14人
第7回 10月20日(火)	・フォローアップ研修について ・居場所クリスマス会について	15人
第8回 11月25日(水)	・フォローアップ研修の報告 ・障がい福祉フォーラムでの展示について	16人
第9回 12月21日(月)	・居場所クリスマス会	16人
第10回 1月18日(月)	・アンケートについて ・居場所新年会について	17人
第11回 2月24日(水)	・春の居場所イベントについて ・アンケートについて	19人
第12回 3月16日(火)	・令和2年度の活動の振り返り ・春の居場所イベント	17人

(5) ピアサポーター養成講座の実施

「ひきこもり」当事者及び、経験者を対象に、同じ経験をした立場からひきこもり当事者を「居場所」やボランティアの場で支援するサポーターとなることを目指すことを目的としている。本講座は、センター利用者の中から希望する人を対象に実施する。今年度は希望者がいなかったため、開催実績なし。

(6) 居場所「ほっとタッチ」の設置、運営

○常設居場所

ひきこもり状態にある方や生きづらさを抱える方が、ホッと安心して過ごす、家族以外の人と関わる、仲間づくりをする、生活体験をするなど、それぞれの目的で利用できる「安心して、自分らしく過ごせる場所」という目的で、空き家を利用し、常設の居場所を設置運営する。

【ほっとタッチ】

- ・月曜日～金曜日（祝祭日を除く）15：00～17：00で開所。
- ・開所日数年間 216日
- ・延来所者数 737人（男性675人：91.6%、女性62人：8.4%）
- ・実来所者数 22人（男性14人、女性8人）
- ・一日平均来所数 3.4人

※（ ）は実人数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	3(3)	99(4)	245(8)	360(5)	7(1)	0	23(1)

・ほっともイベント

春の収穫祭、折り紙教室、ほっともカフェ、秋の収穫祭、クリスマス会、ほっとひと息タイム、春一番～全力紙ヒコーキ～を開催

【西部地区居場所「ほっとタッチ ほえむ」】

- ・本格的な開設に向けてプレイベントを実施する。（10：00～12：00）

開催日	内容	参加
3月30日(火)	西部ほっともカフェ(コーヒー)	3人

○夜間居場所「日陰の集い」（18：30～20：30）

ひきこもり当事者のうち、暗くなってからでないと外出できない方や若年層が集える機会を設けるため、月1回「日陰の集い」と称してNPO 法人あかねと共催で開催した。定期的に行うことで、参加者も定着し、参加者同士のコミュニケーションも図られ、人間関係構築の効果がみられている。

- ・場所 ほっとタッチ
- ・開催回数 11回
- ・延参加人数 69人（男性人51人：73.9%、女性18人：26.1%）
- ・実参加人数 10人（男性7人、女性3人）
- ・1回平均参加人数 6.3人

※（ ）は実人数

年代	10代	20代	30代
人数	16（2）	50（7）	3（1）

（7）ひきこもり家族会への支援

ひきこもり状態にある方の家族（両親・きょうだい・親戚）を対象とした、情報交換、研修機会等を行い、「ひきこもり家族会」が自主運営化されるよう支援した。

毎月、第3木曜日に居場所“ほっとタッチ”にて定例開催した。また、家族同士がお互いに励まし合えるような交流会や、ひきこもりについて勉強できるような研修会を開催した。

○ひきこもり家族会（会員数：正会員13家族（14人））

開催日	内容	参加
第1回 4月16日（木）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
第2回 5月21日（木）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
第3回 6月18日（木）	・総会 ・茶話会	6人
第4回 7月16日（木）	・ワンタッチの活動報告 ・ひきこもりサポーター養成講座について ・美作大学アンケートの協力について ・茶話会	6人
第5回 8月20日（木）	・第2次総社市総合計画後期基本計画策定に伴う意見聴取について ・愚痴庵の講師依頼について ・ひきこもりサポーター養成講座について ・茶話会	8人
第6回 9月17日（木）	・愚痴庵「ひきこもりってなあに～聴く、知る、つながる～」での講演内容について ・ワンタッチ活動報告 ・茶話会	8人
第7回 10月15日（金）	・愚痴庵「ひきこもりってなあに～聴く、知る、つながる～」での講演報告 ・ひきこもりサポーター養成講座について ・茶話会	8人

第8回 11月19日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポーター養成講座講演報告 ・家族会パソコンお披露目 ・ひきこもり情報番組について ・定例会以外での集りについて ・茶話会 	10人
第9回 12月17日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり情報番組の感想 ・研修会について ・茶話会 	8人
第10回 令和3年1月21日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり情報番組の感想 ・研修会について ・茶話会 	8人
第11回 2月18日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会について ・令和3年度の定例会スケジュールについて ・茶話会 	9人
第12回 3月18日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ■研修会 「ひきこもり本人の理解と家族の関り方 ～ひきこもり経験者としての実体験を踏まえて～」 講師：深谷 守貞 氏 (NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会) ■家族交流会 	11人

○ひきこもり家族会の活動紹介等

開催日	内容
(1) 10月11日（日）	(講演：坂本会長／会場：愚痴庵) 演題「ひきこもりってなあに～聴く、知る、つながる～」
(2) 10月27日（火）	(実践発表：坂本会長／会場：総合福祉センター) 「第2回ひきこもりサポーター養成講座」

(8) 周知啓発活動の実施

ひきこもり当事者やその家族をはじめ、広く一般市民、地域の関係者等へ「ひきこもり」への理解と、「ひきこもり支援センター」が行う「ひきこもり」の相談支援や社会参加支援等 について周知啓発を行った。

また、各地区民生委員児童委員協議会定例会に担当職員が出席。ひきこもり等地域住民の見守り支援の中心として活躍され、市内のひきこもり実態調査に協力をいただいた民生委員・児童委員を対象に、本センターの相談支援状況の報告と意見交換を実施した。地区ごとにおいて、実態調査とセンターの相談実績との照らし合わせをした結果を説明。ひきこもり支援の現状を理解いただくことで、今後の地域における見守り意識の向上とセンターへの相談の促進を図った。

○啓発方法：市広報誌、社協だより、チラシ、ホームページ、Facebook

○若者向けチラシの配布

○カード型リーフレットの配布

10. 在宅福祉サービス事業

(1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施

- ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
 - ・利用者数 延2,087人（月平均173人）
 - ・介護支援専門員 6人
 - ・要介護認定調査 延0人（月平均0人）
- ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延769人（月平均64人）
 - ・ホームヘルパー（常勤5人・嘱託1人・登録32人）
 - ・援助内容 身体介護、生活援助
- ③ 介護予防日常生活支援総合事業（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延621人（月平均51人）
 - ・ホームヘルパー（常勤5人・嘱託1人・登録32人）
 - ・援助内容 身体介護、生活援助

(2) 障がい福祉サービス事業（相談支援、支援区分認定調査、居宅介護【ホームヘルパー】）の実施

- ① 指定特定相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延850人（月平均70人）
 - ・相談支援専門員5人
- ② 指定障がい児相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延565人（月平均47人）
- ③ 障害支援区分認定調査の実施
 - ・利用者数 延114人（月平均9人）
- ④ 居宅介護事業の実ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延658人（月平均54人）
 - ・援助内容 身体介護、家事援助、同行援護、相談、助言等
- ⑤ 障がい者（児）移動支援事業の実施（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 5人

(3) 車イス貸出し事業の実施

- ・車いすの貸出し（介護保険外）32件

1 1. 福祉センター等管理運営事業

(1) 総社市総合福祉センターの管理運営

地域福祉活動の拠点として、福祉団体等への部屋の貸出をするとともに、福祉相談の実施、福祉サービスの提供及び啓発に努めた。

	R2	R1	H30	H29	H28
利用回数	1,341回	1,321回	922回	1,303回	1,229回
利用者数	29,150人	39,531人	36,477人	43,623人	42,094人

(2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

・ やすらぎの家

	R2	R1	H30	H29	H28
利用回数	155回	545回	470回	466回	415回
利用者数	2,601人	6,507人	6,255人	7,276人	5,767人

・ さんあいの家

	R2	R1	H30	H29	H28
利用回数	505回	545回	470回	466回	415回
利用者数	4,812人	6,507人	6,255人	7,276人	5,767人

・ ひだまりの家

	R2	R1	H30	H29	H28
利用回数	293回	290回	263回	323回	295回
利用者数	4,267人	6,199人	6,434人	6,825人	6,830人

・ 山手ふれあいセンター

	R2	R1	H30	H29	H28
利用回数	218回	412回	494回	466回	503回
利用者数	2,087人	4,081人	6,477人	7,276人	6,993人

12. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施

① 共同募金実績額 9,632,896円 (R1 10,037,053円)

地区	戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	協力店募金
総社	2,057,720円		207,500円	85,404円	10,543円
常盤	1,206,800円		90,800円	33,244円	12,093円
池田	217,450円		35,000	6,101円	101円
清音	838,370円		74,000円	8,960円	857円
三須	364,940円		10,000円	3,245円	5,659円
服部	336,100円		80,000円	13,588円	
阿曾	412,900円		22,000円	8,584円	2,941円
山手	730,400円		57,000円	25,442円	8,553円
秦	333,200円		16,000円	18,293円	730円
神在	247,900円		24,000円	10,500円	
久代	380,204円			12,408円	409円
山田	121,700円				
新本	219,830円		10,000円	9,155円	107円
昭和	557,930円			7,167円	1,100円
事務局		19,510円			33,919円
計	8,025,444円	19,510円	626,300円	242,091円	77,012円

地区	職域募金	個人・バッチ	合計
総社		77,600円	2,438,767円
常盤		24,760円	1,367,697円
池田		9,200円	267,852円
清音		44,800円	966,987円
三須		1,200円	385,044円
服部		31,000円	460,688円
阿曾		4,000円	450,425円
山手		47,600円	868,995円
秦		18,400円	386,623円
神在		4,000円	286,400円
久代		4,400円	397,421円
山田		800円	122,500円
新本			239,092円
昭和		16,400円	582,597円
事務局	317,562円	40,817円	411,808円
計	317,562円	324,977円	9,632,896円

② 歳末たすけあい募金

・募金実績額 120,042円

(2) 共同募金事業の実施

① 共同募金ポスターコンクールの開催

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象に「みんなで支えあう 明るく住みよい 心豊かな福祉のまちづくり」をイメージするポスター作品を募集しました。

36作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞10点が選ばれました。

運動がスタートした10月1日には、リブ総社店にて授賞式を行い、受賞者には賞状と記念品を贈呈しました。

(3) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

- ・在宅で寝たきりの方（65人）にバスタオルを持参して友愛訪問活動を実施

13. 赤十字事業

(1) 日赤活動資金増強運動の推進

- ・会員増強運動月間（5月）

（令和2年度会費納入状況）

地区名	会員数	実績額
総社	3,125 件	2,298,800 円
常盤	1,490 件	1,341,800 円
三須	485 件	609,500 円
服部	533 件	530,000 円
阿曾	473 件	436,000 円
池田	332 件	293,000 円
秦	448 件	387,500 円
神在	398 件	322,500 円
久代	728 件	555,130 円
山田	202 件	185,000 円
新本	395 件	331,500 円
昭和	798 件	687,000 円
山手	494 件	570,000 円
清音	1,056 件	961,000 円
事務局	1 件	1,000 円
計	10,958 件	9,509,730 円

※ 県支部指示目標額7,128,000円に対して、
実績額9,509,730円（133.4%）
R1 実績額 9,811,750円（▲302,020円）

(2) 災害救援事業の実施

○災害被災者の救護

- ・見舞金（総社市地区独自）1件（火災：新本）
- ・救援物資1件（火災：新本）

(3) 赤十字事業普及のための広報活動

- ・地域のイベントに参加し日赤活動のPR
- ・地域活動において救護班として参加
- ・地域の災害時の炊き出し訓練に奉仕団員が指導

14. 災害救援活動、災害救援募金の実施

日本赤十字社及び共同募金会から依頼のあった災害義援金について、指定募金として対応した。

《令和2年7月豪雨災害義援金》 222,630円

※以上の義援金は本地区を通じて、岡山県支部へ送金

15. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導

○社会福祉援助技術現場実習の受け入れ

- ・岡山県立大学 3人
- ・川崎医療福祉大学 2人

○社会福祉士養成校での講義等

- ・岡山県立大学（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ）

16. 視察研修等の受入

No	視察研修等受け入れ先	日程
1	JA 岡山西（JA 岡山西女性部）	4月23日（木）
2	三重県議会	9月18日（金）
3	阿南市社会福祉協議会	10月23日（金）
4	山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会	11月25日（水）
5	瀬戸内市福祉部福祉課	1月20日（水）
6	京都府民生委員児童委員協議会	2月24日（水）
7	山口県社会福祉協議会	3月9日（火）

17. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

（外部委員等への就任状況）

No	関連委員等	担当
1	総社市総合計画審議会 委員	風早会長
2	総社市地域公共交通会議 委員	風早会長
3	総社市全国屈指福祉会議 委員	風早会長
4	総社市表彰審査会 委員	風早会長
5	総社市市民憲章を唱和・実践する会 副会長	風早会長
6	総社市民生委員児童委員推薦委員会 会長	風早会長
7	総社市文化振興財団 評議員	風早会長
8	岡山県社会福祉協議会 評議員	風早会長
9	岡山県共同募金会 理事	風早会長
10	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会 副会長	佐野事務局長

11	総社市要保護児童対策地域協議会 副会長	佐野事務局長
12	岡山県社会福祉経営支援委員会 委員	佐野事務局長
13	岡山県地域公益活動推進協議会 委員	佐野事務局長
14	全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会 常任委員 市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会 福祉サービスの質の向上推進委員会	佐野事務局長
15	総社市自殺対策連絡協議会 委員長	山田課長

18. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した地域福祉活動再開のガイドラインの策定（令和2年10月）

- 本会における新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を定めた。
- コロナ禍における地域福祉活動等の事業展開に向けたガイドラインを策定した。

19. 社会福祉法人 総社市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の策定（令和2年10月）

- 災害時等における本会の事業推進にあたり事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）を策定した。
（災害時の基本方針、職員行動、事業継続の優先基準など）